

◆マスキングシート説明 (バックシート付き)

●パンチ、ダイカット、テアリング、飾りハサミ、カッティングマシンなど利用可能。

Pタイプ：上質紙=(ピグメントインク用 ブリリアンス、バーサマジック、バーサクラフトなど)

Cタイプ：コート紙(ダイインク用 ステイズオン、インプレス、MEMENTO など)

特 徴

- 1) 紙、布、木、メタル製品にも使用可能。
- 2) Pタイプは、上質紙製なのでインクを吸い込み、乾きが速い。
- 3) Cタイプは、コート紙なので、ダイインクでも裏ににじみにくい。
- 4) 弱粘着で、スタンプした上からも貼ることができる。
- 5) 弱粘着で、紙が傷まない。
- 6) バックシート付きでパンチなどで抜くことができる。
- 7) 抜いた方も抜かれた方も両方使える。
- 8) 窓の中にスタンプするので、初心者でもレイアウトがカンタン。

★**ご注意**：●重ね貼りする際は、下のインクが乾いてから貼ってください。●長時間貼ったままにしないでください。
●紙の場合は軽く貼るようにしてください。(はがす際に破かないように注意) ●使用後は、クリアフォルダーや透明の袋(ツルツルしたもの)などに貼っておくと再使用可能。●作品に使用するインクは、それぞれの素材にあったものをご使用ください。

◆マスキングテクニック

1) 型抜きし、その内側にスタンプ (窓枠)



カッターナイフ、大型パンチ、ダイカットマシン、カッティングマシンなどを利用して型抜きしたシートの外側の方を使用。
作成するカードなどシートを貼り、上から窓枠部分の境目を意識して良いデザインになるようにしてDTP&スタンプ。
マスクをはがすと窓の中にデザインができ上がる。

2) マスキング：シートの内側と外側の両方を使用 (できあがった内側をさらにマスク)



バックグラウンドもマスキングで作る。楕円に抜いたマスキングシートの外側の方を貼り、内側にDTP&スタンプ。
外側のマスクをはがし、インクを完全に乾かしてから、楕円のマスクを上貼り、周囲にDTP&スタンプ。

3) マスキングスタンプテクニック



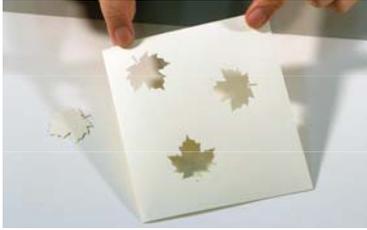
カードにスタンプしたあと、そのままマスキングシートにも押しつけて画像を切り抜く。先に紙に押しつけたものの上に重ね貼りし、上からスタンプ。マスクをはがすと重なり感が出る。(最初に押しつけたものが手前に来る)

4) 白抜き&スタンプ



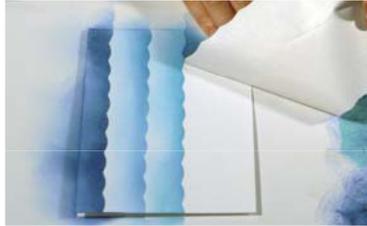
ダイカットマシン、カッティングプロッタ、パンチなどを使用してマスクを作る。
抜いた部分をカードなどに置き、上からバックグラウンドなどをスタンプ。
白抜き部分を目立たせるためにダウパーで周囲を着色したり、スタンプした上にも再度マスクを乗せて着色する。
白抜き模様とスタンプの上にも模様ができる。

5) ステンシル



カッターナイフ、パンチ、ダイカットマシンなどで型抜きした外側の部分を使う。パンチで抜き、外側部分をカードなどに貼る。ダウバーや DTP で着色。2〜3色混ぜると良い。葉脈は DD のエッジを使う。シートは数回使用可能。

6) ハサミや、飾りハサミでカットして使用 (ボーダーマスキング)



飾りハサミでカットしたマスクを貼り、ダウバーで着色。はがして、位置をずらして貼り、別の色でぼかすように着色。(グラデーションカラーなどにするのがおすすめ)

7) シートを手でちぎってテアリングマスク (ボーダーマスキング)

山並み、雪山、波、砂山などの表現に良い。

8) 白抜き (ウォルナットインクをスプレー)



パンチで抜いた部分の方を紙に貼り、上からウォルナットインクスプレーで着色。乾いてからシートをはがすと白抜きに。

9) 応用編：切手風なアクセントを作る



長方形のパンチでシートを抜き、外側をカードに貼り、窓部分に薄い色からダウバーで着色、または DTP して、スタンプ。マスクをはがして、切手の形の飾りハサミでカット。切手そっくりのアクセントの完成。

10) インクをつけたくない部分をマスクする



カードにスタンプを押したあと、そのままインクを足さずにシートにも押しつけてそれをカットしマスクを作る。スタンプした部分に乗せて貼り、周囲を着色しマスクをはがす。

11) 布にステンシル



色々な形のパンチでシートを抜き、外側の部分を貼る。バーサクラフトを使いダウバーなどで着色。アイロンをかけて仕上げる。